観光物産（土産）業界に興味はありませんか。新規参入の仕方など、業界唯一のオーソリティがご相談に乗ります。

日本政府は現在、新成長戦略の一環として「観光立国」を推進しています。「ビジット・ジャパン・キャンペーン」で立てた目標、２０１０年までに訪日外国人観光客数を１０００万人、日本人海外旅行者数を２０００万人、国内旅行消費額３０兆円の達成を目指しました。しかし、いずれも達成できていませんが、少子高齢化の日本にとって、観光産業は２１世紀のリーディング産業と期待されています。

ところで、「観光」につきものは「お土産」です。このお土産産業は３兆８０００億円（うち観光土産は２兆５０００億円）を誇る一大産業なのです。観光業全体の中でも、交通、宿泊に次ぐ第３位のシェアを占めています。しかし、魅力ある土産業界なのだが、その実態がよく分からないという声をよく聞きます。

観光物産総合研究所（稲田俊明代表）は物産（土産）業界唯一の調査・研究機関として、土産業界のコンサルティングや土産業界に関する各種刊行物の発行をしています。以下に、当総研が発行する各種刊行物のご案内をします。

＜１＞観光物産業者名鑑「２０１１卸問屋版」
土産業界のバイブルとも言うべき名鑑で、土産業界で流通に携わっている業者がすぐに分かります。
◇体裁：Ｂ５版 約４００ページ（広告等含む） ◇掲載企業数：全国主要卸業者１０００社
◇発行：２０１０年８月１６日 ◇定価：￥４０，０００（税、送料込み）

＜２＞２０１１年版「２０１０年度 土産業界白書」
観光業界に「観光白書」があるように、土産業界にも昨年から「土産業界白書」が誕生しました。
◇体裁：Ａ４版 約８０ページ ◇発行：２０１１年１１月１０日
◇定価：￥８，０００（税、送料込み）

＜３＞観光施設名鑑「２０１０レジャー・ミュージアム版（東日本編）」
観光物産（土産）業界の新たな市場として注目されるレジャー・ミュージアム施設を網羅した名鑑です。東日本編は北海道～東海地方までです。
◇体裁：Ａ４版 約２７０ページ ◇発行：２０１０年１１月３０日
◇定価：￥３０，０００（税、送料込み）

＜４＞観光施設名鑑「２０１２レジャー・ミュージアム版（西日本編）」
観光物産（土産）業界の新たな市場として注目されるレジャー・ミュージアム施設を網羅した名鑑です。西日本編は近畿地方～九州・沖縄地方までです。
◇体裁：Ａ４版 未定 ◇発行：２０１２年３月 ◇定価：￥３０，０００（税、送料込み）

＜５＞月刊：観光物産ニュース
物産（土産）業界唯一の専門情報誌です。
◇体裁：Ａ４版 平均４０ページ以上（本文カーラーです） ◇発行：毎月１５日
◇定価：年間購読料￥１２，６００（税、送料込み）

＜６＞観光物産業概論【Ⅰ】実態分析編ー観光土産業界を初めて分析した教書ー
＜７＞観光物産業概論【Ⅰ】商品開発編ー観光土産品を開発するためのヒントはー
上記＜６＞＜７＞は現在品切れです。

■資料請求・詳細は「観光物産総合研究所」までお問合せ下さい。

稲田 俊明

◆観光物産総合研究所
〒166-0012 東京都杉並区和田3-28-11-202
TEL 03-6775-7185 FAX 03-3311-9502 携帯電話 090-6035-0223
Ｅメール kankoubussansinbun@yahoo.co.jp
事業内容は http://suginami.machinavi.biz/s102293.html
広報ブログは http://kankoubussan.jugem.jp
観光物産ニュースの内容は http://miyagenews.jugem.jp
◆地域振興ネットワーク 事務局 http://blog.qlep.com/blog.php/kankoubussan
◆庄内ふるさと応援団「東京庄内藩」 事務局
「庄内ふるさと検定」他、庄内の話題は http://blog.qlep.com/blog.php/shounai

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com